One MIZUHO

市場営業部 為替営業第二チーム

みずほCustomer Desk Report 2022/04/04 号(As of 2022/04/01)

【昨日の市況概要	·]	公示仲值	122.21		
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	121.76	1.1074	134.80	1.3147	0.7491
SYD-NY High	123.03	1.1076	135.87	1.3148	0.7525
SYD-NY Low	121.66	1.1028	134.79	1.3087	0.7473
NY 5:00 PM	122.55	1.1048	135.37	1.3115	0.7498
NY DOW	34,818.27	139.92	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	14,261.50	40.98	日本10年債	0.2100	0.00bp
S&P	4,545.86	15.45	米国2年債	2.4615	12.79bp
日経平均	27,665.98	▲ 155.45	米国5年債	2.5638	10.05bp
TOPIX	1,944.27	▲ 2.13	米国10年債	2.3886	4.43bp
シカゴ日経先物	27,840.00	255.00	独10年債	0.5645	2.05bp
ロント、ンFT	7,537.90	22.22	英10年債	1.6090	0.45bp
DAX	14,446.48	31.73	豪10年債	2.8450	7.50bp
ハンセン指数	22,039.55	42.70	USDJPY 1M Vol	9.33	0.07%
上海総合	3,282.72	30.51	USDJPY 3M Vol	8.88	0.25%
NY金	1,923.70	▲ 30.30	USDJPY 6M Vol	8.43	0.03%
WTI	99.27	▲ 1.01	USDJPY 1M 25RR	0.08	Yen Put Over
CRB指数	293.182	▲2.00	EURJPY 3M Vol	9.95	0.07%
ドルインデックス	98.63	0.32	EURJPY 6M Vol	9.78	0.13%

東京時間のドル円は121.76レベルでオープン。月初や新年度入りに伴う実需のドル買いフローもあってか、ややドル買いが優勢。また、本
日発表の米3月雇用統計への期待感からか、米金利上昇の流れにドル買いも進んだ。正午に122.73を付けた後は一服し、122.36レベ
ルで海外時間に渡った。

本日ロンドン時間ドル円は122.36レベルでオープン。米長期金利が2.4%を超え堅調に推移したことで、ドル円も値を上げ一時は122.75まで上 昇するも、結局122.46レヘルでNYへ渡った。ユーロ・ルは1.1061レヘルでオープン、欧州株は堅調に推移するも、エネルギー供給問題などの不 安材料を背景に値を下げ1.1048レベルでNYへ渡った。

海外市場のドル円は121円台後半でスタート。新年度でドルロング・円ショートのポジションが再構築される中、122円台を回復。米金利上昇や 株式市場の堅調推移も買いのサポート材料となり、一時122.75まで上昇。その後は米3月雇用統計を控え、様子見ムードが広まり、 122.50近辺でもみ合い122.46レヘルでNYオープン。朝方発表された米3月雇用統計では非農業部門雇用者数は市場予想を下回るも、 過去2カ月分が上方修正された、また失業率が改善し、平均時給が予想を上振れ、強弱まちまちの結果となった。イベル通過後は米 短期金利の上昇を受けてドル円も買い優勢となり、一時123.03まで上昇。しかし、その後は米金利の上げ幅縮小と主要米株指数がマ イナス圏に沈む動きが重しとなり、122.50近辺まで反落。午後は週末ムートで積極的な取引が手控えられ、122.50を挟んだ狭いレンジで 推移し、122.55レヘルでクロース。一方、海外市場のユーロ・ルは1.10台後半スタート。欧州株は底堅く推移するも、米金利上昇が上値を抑 制。 じり安推移が続き、1.1048レヘルでNYオープン。 朝方は高値1.1059まで上昇する場面もあったが、米独金利差が拡大する中、トル買 い優勢となり、1.1028まで下落。しかし、EU圏のインフレ率加速を背景にECBの早期利上げ観測も強まる中、更なるユーロ売りが限定的 だった。午後はじりじりと買い戻され、結局、オープンと同じ水準の1.1048レベルでケロース。

【昨日の指煙等】

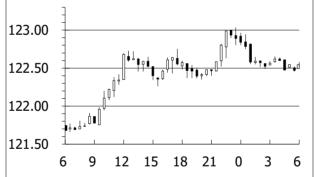
THE H AND	1 1/1× T					
Date	Time		Event		結果	予想
4月1日	18:00	欧	CPI速報値(前月比/前年比)	3月	2.5%/7.5%	1.8%/6.7%
	18:00	欧	コアCPI・速報	3月	3.0%	3.1%
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	3月	431k	490k
	21:30	米	失業率	3月	3.6%	3.7%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	3月	0.4%/5.6%	0.4%/5.5%
	22:05	米	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「年内残	りすべての会合での25	5bp利上げを支持」
	23:00	米	ISM製造業景況指数	3月	57.1	59.0
		欧	ノット・オランダ中銀総裁 講演	Г9,	月以降はいつでも利上	:げあり得る」
4月3日	02:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	Γ-	一連の利上げ通じ中立金	利に到達へ」

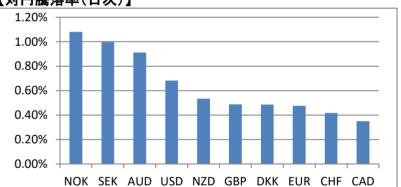
【本日の予定】

	CALID AND	~_ 4					
	Date	Time		Event		予想	前回
Г	4月4日	23:00	英	カンリフBOE副総裁 講演	_	-	-
		23:00	米	製造業受注(前月比)/同(除く輸送)	2月	-0.6%/0.3%	1.4%/1.0%
		23:00	米	耐久財受注(前月比)/同(除<輸送用機器・前月比)・確報	2月	-2.2%/-0.6%	-2.2%/-0.6%

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】





【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	121.95-123.00	1.100-1.107	134.50-136.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の東京時間のドル円相場は海外時間に主要な経済指標の発表が相次ぐことを控え122円後半での小動きとなった。海外時間 に入り発表された米3月雇用統計では、非農業部門雇用者数は予想比低下したものの、失業率は低下、平均時給は上昇し、FEDが5月会 合で50bpの利上げを後押しする結果となった為、ドル円は上昇し123.03を付ける。ただその後はISM製造業の下振れを受け122.50程度の 水準まで戻すとレンジでの推移となり122.55レベルでクローズした。

本日のドル円相場は上値重い展開を予想する。

特に注目される経済指標の発表はなく新規材料が乏しい中、米金利が低下していることを背景にドル買い材料も少なく、上値重い展開を 予想する。また、足元の原油相場が落ち着いていることをを背景に、やや円高圧力が強いか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基 **| づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投** | 資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で 引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希 望する旨をお申し出ください。

京

ド

3